

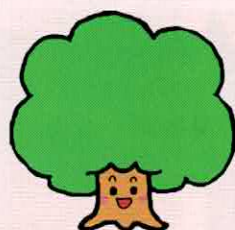


独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

ほっこりパントリー活動報告書

2021年9月～2022年3月

事業名	実施日	実施時間	実施場所	実施内容	参加者数	費用



親子のセカンドホーム
NPO法人子育てネットくすくす

<http://www.k-kusu.com/>

はじめに

子育てネットくすくすは、善通寺市やその周辺地域の親同士が協力しあって、子育てを応援する活動を一緒につくり出す事を目指し、学生や市民ボランティアの方々の協力も頂きながら、子どもたちの幸せを願い子育て支援を行うNPO法人として2002年(平成14年)に設立されました。子どもの幸福を第一に考え、そのためには親子を中心とした家族全体への支援が必要であるとの前提に立って、住民同士の支え合いと学び合いに基づく地域子育て環境づくりを目指すとともに、お互いの顔が見える地域社会の再生を図っていくことが私たちの社会的使命です。

私たちが拠点を置く善通寺市は人口31,200人ほどの街です。地方都市ではありますが総合周産期母子医療センターや自衛隊・警察学校・農業研究センター・少年院など公共機関も多く転入・転出が多いため子育て家庭の孤立を防ぐ予防的な支援が地域課題となっています。特に多胎・若年・障がい・発達不安・医療ケア・生活困窮・外国籍・ひとり親などの理由で社会的に一層孤立しやすいご家庭が早い時期に支援やサービスにつながる事ができるよう、母子保健・医療・子育て支援(福祉)の連携ネットワーク強化に努めています。本法人では従来の事業に加え2019年5月より善通寺市子どもの居場所づくり事業として「ほっこり食堂」を開始。参加者の中には生活困窮、ひとり親など支援を必要とするご家庭もあり、行政相談員や保健師等と協働しながら、子どもたちの安心・安全を見守ってきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い困りごとのあるご家庭の孤立がより一層深刻となりました。

ほっこりパントリー

全国で緊急事態宣言が発令された2020年4月より子どもたちの臨時休校に伴い緊急対応として、子育て家庭の貧困と孤立を防ぐため食料品配布の「ほっこりパントリー」を開始。特に日々の生活に困っているひとり親家庭や生活困窮家庭等を対象にお米をはじめ、卵や缶詰、乾物、レトルト食品、チルド食品など助成金で購入したものに、企業や地域の方々からの寄付品をあわせてお届けしてきました。

2021年9月からはWAM助成・独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業として活動エリアを広げながら毎月1回の食料品配布会をはじめ個別相談会や交流会を実施しました。

事業概要

助成期間:2021年9月～2022年3月
 主な実施地域:香川県善通寺市をはじめとする中讃・西讃エリア

	食品配布	個別相談	専門相談	訪問	連携	付添支援	交流会
9月	100	34	3	2	22		0
10月	120	34	7	4	36		2
11月	120	54	11	6	45		2 中止
12月	120	23	6	8	27		0
1月	120	36	2	3	33		2
2月	140	35	4	5	33		1 延期
3月	140	26	2	4	22		1
計	860	242	35	32	218		4

【ひとり親・生活困窮等食料品配布事業】

コロナ禍にあってひとり親など生活困窮のあるご家庭を対象に食料品を定期的に配布し「いつでも頼れ、相談できるところ」として生活の安心安全を保障することでご家庭が孤立しないことを目指し実施。善通寺会場(子夢の家/金蔵寺町1044-2)及び三豊会場(三豊市社会福祉協議会高瀬支所/高瀬町下勝間2449-1)の2会場です。毎月120～140家庭に食料品や生活用品を配布し、事業期間中延べ860セットが子育て家庭に届けられた。

食料品配布準備、また当日の食料品配布にはスタッフをはじめ大学生や社会人ボランティア等が多数参加し、食料品をご家庭に届けるために仕分けをしたり、ご家庭を気にかけてながら配布する様子があった。(3面に写真掲載)

●実績:9月11.12.13日/10月10.11日/11月7.8日/12月12.13日/1月23.24日/2月20.21日/3月3.14日

●主な経費・概算の総額:3,213,318円

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業 (社)善通寺1044-2

ほっこりパントリー

ほっこりパントリーではひとり親等をサポートするため、無料で食料品や相談会を実施しています。事前登録・申込で毎月1回の食料品配布会にご参加いただけます。また、お問い合わせはいつでもご相談ください。この事業はWAM助成金を受けて実施しています。

食品配布会 場所:【善通寺会場】子夢の家(善通寺町1044-2) 【三豊会場】三豊市社会福祉協議会(高瀬町下勝間2449-1)

10月
 【三豊】10月10日(日) 10:30～15:00
 【善通寺】10月10日(日) 10:00～16:00
 10月11日(月) 11:00～17:00

11月
 【三豊】11月7日(日) 10:30～15:00
 【善通寺】11月7日(日) 10:00～16:00
 11月8日(月) 11:00～17:00

12月
 【三豊】12月12日(日) 10:30～15:00
 【善通寺】12月12日(日) 10:00～16:00
 12月13日(月) 11:00～17:00

ひとり親さん相談会
 10月17日(日) 10:00～15:45
 定員:先着4組(要申込)

ひとり親さん交流会
 11月14日(日) 10:00～12:00
 定員:先着5組(要申込)

個別相談にも対応可！
 おねがい！

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業 (社)善通寺1044-2

ほっこりパントリー

ほっこりパントリーではひとり親等をサポートするため、無料で食料品や相談会を実施しています。事前登録・申込で毎月1回の食料品配布会にご参加いただけます。また、お問い合わせはいつでもご相談ください。この事業はWAM助成金を受けて実施しています。

食品配布会 場所:【善通寺会場】子夢の家(善通寺町1044-2) 【三豊会場】三豊市社会福祉協議会(高瀬町下勝間2449-1)

1月
 【三豊】1月23日(日) 10:30～15:00
 【善通寺】1月23日(日) 10:00～16:00
 1月24日(月) 11:00～17:00

2月
 【三豊】2月20日(日) 10:30～15:00
 【善通寺】2月20日(日) 10:00～16:00
 2月21日(月) 11:00～17:00

3月
 【三豊】3月13日(日) 10:30～15:00
 【善通寺】3月13日(日) 10:00～16:00
 3月14日(月) 11:00～17:00

ひとり親さん相談会
 1月15日～15:00
 1月16日～15:30
 1月17日～15:45
 定員:先着5組(要申込)

ひとり親さん交流会
 2月23日(日) 10:00～12:00
 定員:先着5組(要申込)

おねがい！

●食料品配布会の様子

食料品の配布だけでなく、自由にお持ち帰り頂けるコーナーを設け衣類・生活用品・学用品・季節の野菜などがご家庭に届けられました。



【相談事業】

パントリーに登録しているひとり親家庭等を対象に個別専門相談を毎月実施。子育て支援コーディネーターの調整によりご家庭の困りごとにあわせた専門相談は延べ35件。専門相談を担当した専門職はスクールソーシャルワーカー（就学・不登校・学校の行き渋り・家庭内不和・思春期・学習支援）、言語聴覚士（子育ての不安・発達の遅れや心配）、弁護士（離婚トラブル）、生活支援専門員（困窮・金銭管理）など。また食料品配布時やSNSを活用した個別相談に子育て支援コーディネーターや子育てひろば職員が延べ242件対応した。

3月21日には当事者同士がお互いに支えあう関係をつくり出すことを目指し、ひとり親交流会を行い4親子が参加。春の陽気が感じられる善通寺五岳の里市民集いの丘公園にて子ども同士・親同士ともに時間を過ごすことで交流を深めた。

専門相談実施日時:9月2.12日/10月17日/11月28日/12月18日/1月9日/2月13日/3月6日

個別相談実施日時:食料品配布日及び随時

交流会実施日時:3月21日

●主な経費・概算の総額:153,040円

●個別相談会の様子



～相談者の声～

- ・相談ができる場所があるって思うだけでとても気持ちが楽です！
- ・自分の気持ちを少しでも吐き出すことができ、とても気持ちが楽になっていました！色々相談することができありがたかったです。
- ・母子、障害、医療、教育など縦割り行政でぶつ切り対応なのが、くすくすさんは相談することで俯瞰して包括的な課題の洗い出し、支援策の検討をして下さいます。
- ・誰かに相談できると思うと楽になった気がします。
- ・たくさん悩み、相談を聞いていただいて気持ちが軽くなりました。

感染症拡大時にはオンラインシステムも活用し専門家相談をしました。

～交流会参加者より～

- ・親も子どももリフレッシュできました。
- ・同じ境遇の方がいて嬉しかったです。
- ・子どもが今まで以上に喜んでくれたのと、自分も同じ方がいるという事が知れてよかったです。
- ・子どものために、と参加しましたが色々とお実のところがありました。



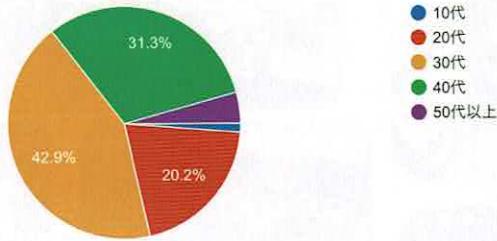
●交流会の様子



パントリー参加者の状況(アンケート結果より)

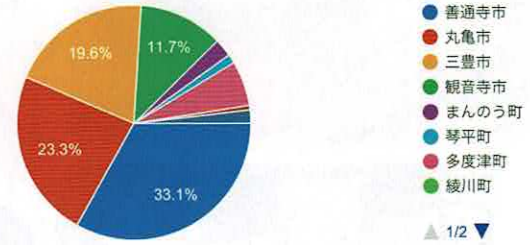
Q. 保護者の年齢について当てはまるものを選んでください。

163 件の回答



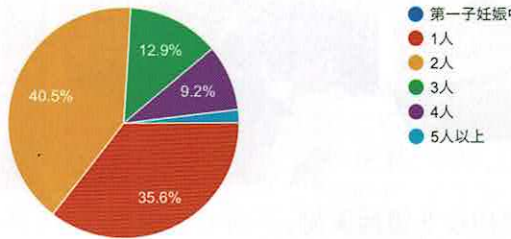
Q. お住いの自治体をお選びください。

163 件の回答



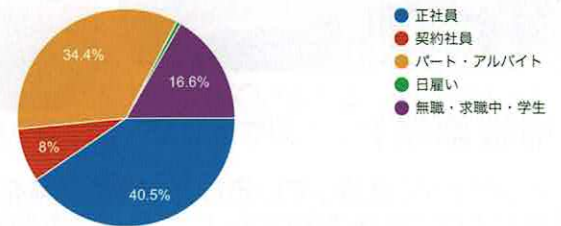
Q. お子さまの人数についてお聞かせください。

163 件の回答



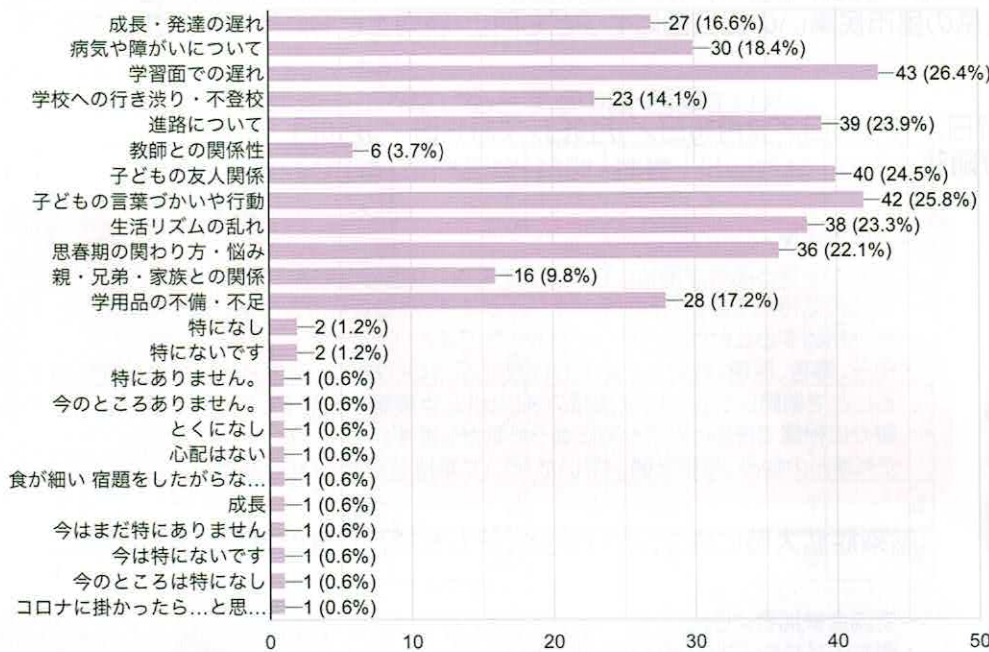
Q. 保護者の就労状況・雇用形態についてお聞かせください。※現在、産休・育休等の休職中で復帰予定がある方は休職前の雇用形態

163 件の回答



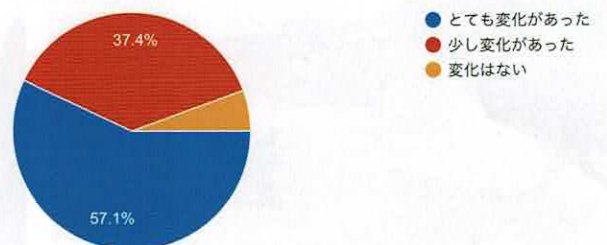
Q. お子さまのことで心配していることはありますか。※複数回答可

163 件の回答



Q. ほっこりパントリーを利用するようになって、経済的負担の軽減や、気持ちが前向きになったなど、何かご自身やお子さまに変化はありましたか。

163 件の回答



Q. ほっこりパントリー（子育てネットくすくす）とのつながりが出来たことで変わったこと、食料品を受け取られた感想がありましたら、ぜひお聞かせください。また、食料品や生活用品などで受け取って嬉しかったものを教えてください。 ※自由記述124件の回答より一部紹介



- ・受け取る時にいつも優しく声をかけてくださって、本当に嬉しかったです。
- ・かなり食料支援は助かりました。女の子2人なので生理用品は嬉しかったです。
- ・一人の収入だと、学費も大きくなるに連れ増えていくから支援は、すごくありがたいです。
- ・食料品をいただくようになってから、レパートリーが広がり、子どもたちの食生活が良くなりました。
- ・お米、野菜、冷凍食品など頂けて助かりました。日用品、洋服なども助かりました。頂いたものを子どもに渡すとき、話すきっかけにもなりました。
- ・いつも子どもと二人で受け取りに行くのですが、職員さんたちが子どもの目線になってお話してくれたり、絵本を読んでくれたりと、渡すことと受け取るだけでなく、たくさん関わってくれていたのが嬉しかったです。また季節にそったものをくれる時は季節を感じられてよかったです。
- ・経済的負担が軽くなると、子どもの欲しい物等にあててやる事が出来、気持ちの余裕が出来た。
- ・金銭面での余裕がもてるので、精神的にもイライラせず子どもに接することができた。
- ・ノートや文具用品なども子どもたちは喜んでます。いつも親切に対応してくださってありがたいです。
- ・子どもがまだ小さいので、お菓子の詰め合わせが貰えた時はとても喜んでいました。
- ・パントリーに行くと、その時の状況のお話を聞いて下さり、気持ちがとてもラクになりました！
- ・休みの日はお昼ご飯の材料費がかさみ大変でしたが、いただいた食材があるおかげで以前より少しゆとりができました。
- ・食品配布で家計も助かっていますが、人と関わりたくない引きこもっている子どもが、ほっこりパントリーの日だけは、行くと言ってくれます。人との交流が全くないこともとても心配なので短い時間でも外に出る機会になるので、助かっています。
- ・顔を合わせると覚えていてくれ、「元気？」や「久しぶり」などの声かけも、子どもや職場での繋がりしかなかったので心温まりました。
- ・金銭的に余裕がなく安価で限られた食材しか手に入れることが出来ない生活の中で、月に一度食べたことのない食品や食べたかった食品などがいただけるので毎月楽しみになっています。まともな食事が何度か出来るだけで精神的にもほっこりできます。
- ・お菓子をもらえるのもホッとしました。いつも、ひとり親で気を張ったり使ったりしているので安らぎのひとつがとれました。
- ・初めて受取りに行った時、自分の中で恥じらいや、申し訳ないと言う気持ちが大きかったのですが、そんな気持ちも吹き飛ばすくらい優しく対応していただいて感謝の気持ちが溢れて、もっと早く知っていればと思いました。
- ・LINEで繋がってから、皆さんの温かい優しいお人柄に「孤独感」から救われました。主人を突然になくなってからお米や卵も買えなかった…初めて食材を受け取った時は涙が出る程うれしかったです。
- ・娘がいるので毎月の生理用品は本当に助かりました。また、真空パックにしてある食品で作り方までプリントしていただいていたので、とても美味しくいただきました。私は両親が他界しているため、母にもらうみたいで嬉しかったです。
- ・スタッフの方々がとても優しくあたたかく迎えてくださり、心も癒されました。
- ・毎月半ばあたりに給料が底を尽き、食糧に困っていたので、本当に助かっていました。
- ・身になることを沢山アドバイスをくれてほっこりパントリーを通じて沢山の方々と関わる事ができました。
- ・経済面はもちろんですが、つながりができたことで精神面を多々救われました。同じ境遇の方が頑張っている姿、大きくしっかり成長していった子どもさんの姿や話を聞いては、大丈夫だと思え励まされました。パントリーを受け取るようになってから子どもとの会話が増えていったと感じています。
- ・お米と野菜がとても嬉しい。色々な方に声をかけていただき、ひとりなことの不安がホッと一息できました。
- ・毎日毎日仕事と子育てで忙しい中、すぐに用意出来る食品が入っていたのですごくありがたかったです。
- ・下の子は月1回でも利用できること、子夢の家に行く事がたのしみみたいです。お兄ちゃんも、初めてそういう支援を受けることを恥ずかしいと思っていました。頑張っても限界である時に頼れる団体で色んな人が来る話をすると、納得したようで少しでも助かるからと恥ずかしい気持ちは消えたようです。お芋をもらった時には「大きいのに美味しいな～」ってみんなで食べました。食べ盛りの男の子2人なのでウィンナーなど冷凍で日持ちするものなど助かってます。



Q. その他パントリーに関すること、お困りごとなどを何でもお聞かせください。※自由記述

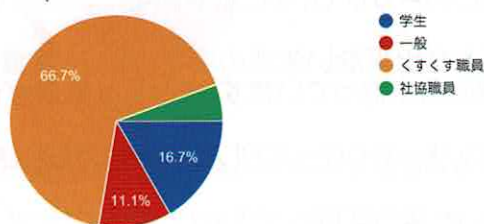
- やっと離婚が決まりそうで1番忙しかった時にパントリーに支えられました。本当にありがとうございました。
- 支援物資に関して、先が見えない状況で継続的になくなるのは悲しいですが、また提供できる時には有り難く参加させて頂きたいと思います。
- まだ、パントリーのことを知って月日も浅く、回数も少ないですが、こんな提供をしてくださっていることに、感謝の気持ちでいっぱいです。長女が不登校で将来の目標も無かったのに、自分が子夢の家さんにお世話になったり、ボランティアの方の姿を見て、自分も将来子どもたちの支えになる職種に就きたいと目標ができ、その目標のために進路を自分自身で決め、そのために学校へ行けるよう努力をしています。本人なりの恩返しの意味もあるのだと思います。経済環境だけではなく、家庭環境をも支えて頂いているのを改めて感じました。
- 子どもの文房具などが、不足しがちなのでいただけると助かります。
- コロナが終息したら色々な活動、交流会ができればいいですね。
- パントリーが毎月では無くなる事は残念です。定期的に出来る事を願います。
- 子どもの不要になった服を持って行って活用してもらえるシステムがあればと思います。不要になった制服、体操服などもあれば助かる方は多いと思います。



スタッフ・協力者の声(アンケート結果より)

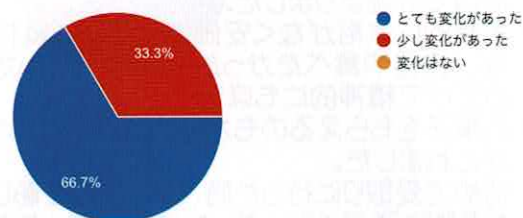
Q. あなたの所属を教えてください。

18件の回答



Q. ほっこりパントリーに関わるようになって、何かご自身のお考えや生活に変化はありましたか。

18件の回答



Q. それは具体的にどんな変化でしょうか。小さいことでもかまいません。あれば教えてください。

- ほんの小さな支援でも助かっている人は大勢いること。ひとり親同士のネットワークの広さや速さを感じた。
- 思っていたより多くの家庭が支援を必要としていることに驚いた。個人で直接的に支援をすることは不可能なので今後もパントリーに携わる形で支援して行けたらと思う。
- 子ども福祉やNPOに興味が出た。
- 社会福祉学を専攻していることもあって子育てを行う家庭の支援については学んでいたが、こうした活動に参加するのは初めてだった。
- パントリーに来られる人に食材やその他の物を配布することもすごく重要だけど、気軽に誰かと困りごとについて話せる場所や関わりも大切だと感じるようになった。また、ひとり親や貧困家庭についてより身近なものとして考えるようになった。
- 自分の生活だけを見ていましたが、困窮家庭がいる事を知り、最低限の生活が保障されているはずなのに違うことに疑問を持ちました。この疑問を行政に知ってもらい、より良く皆が暮らせるように働きかけたいです。
- 自分が知らないことが多いことに気づかされました。他者と関わる時にさらに相手のことをより理解したいという気持ちが強くなりました。
- ひとり親家庭がとても多いことを知り、このパントリーを皆さん楽しみにされていることを実感でき、関わられて嬉しく思いました。
- 生活用品や学用品等親子が必要だと感じる前にお渡しするのは親の仕事への意欲を欠く事になるのでは？と疑問がありましたが、ただただ子どもが安心して食事ができ、学校での安心につながればと思うようになりました。
- 困り事や心配事が複数重なり、相談する人や時間もなかなかない中で、踏ん張って子育てされている家庭を知ることができ、お話を聞かせてもらって課題を教えてもらった。
- 家にある賞味期限が近いものやリサイクルできそうなものをチェックしたり、ひとり親さんや生活困窮の方がこんな身近に多くいた事を知り、困っている方々を何かサポートしていきたいと感じるようになった。
- 見えていないことがたくさんあると思うようになった。生活では、改めて、不要なものを買わないようにしたり、大事にしようと思うようになった。不要だと思うものも、即処分ではなく、立ち止まって考えるようになった。
- 表には見えない問題を抱えているご家庭が多くあることを知った。
- コロナ禍のあるなしに関わらずひとり親家庭や生活困窮家庭が社会的に孤立しやすいこと、また子育てにおいて多くの困りごとに直面しやすいという現実を身をもって知ることが出来た。
- パントリーは手段の一つであり、そこから相談に繋がったり、一人ではないとエンパワメントにつながることを実感しました。
- マイノリティの人たちへの支援が抜け落ちていたり、悩みや不安を抱えていても声に出せない人出さない人々への支援のあり方にも気づかされた。子どもたちへの支援につながることを意識しないといけない。

Q. パントリーの活動を通して見えてきた社会課題や今後どうしていけばいいかなど、ご自身のお考えをお聞かせください。

- ・助成金だけでなく今後も個人からの提供など細く長い活動が必要だと思う。
- ・自動車を所有できない家庭、また受け入れ側のキャパシティ的な問題からなるべく各市町で支援を行うことがベストだと感じた。これを実現させるには行政または企業からの支援等が不可欠であると思われる。
- ・パントリーでつながった親子と継続的につながっていけることが今後もまずは大切ななと思った。パントリーなどの活動につながらないひとり親家庭や貧困家庭もまだいるのかなと思ったが、全ての人にパントリーで配布ができる訳ではないという事実も感じた。いち活動だけでなく、大きな対策や取り組みが必要と思った。
- ・最低限の生活を憲法で保障されているのに、縛りが多過ぎて受けることができない人が多いと聞きます。縛りを緩めるのが難しいのであれば、生活困窮している人に支援をする手が増えればと思います。団体でするのは限界があるので、行政と一緒にいければ、長く続けられると思います。
- ・登録数は増えても、実際に支援できる数は限られていることがもどかしかったです。地元の企業やスーパーと連携したり、市や国の支援を受けて、継続し行き届く活動ができればいいですね。
- ・できる事で協力したいと思います。同じように生まれてきた子どもたちが平等に教育を受けて社会に出れるようにできたらと思います。
- ・孤立している家庭をひとりにさせないためには繋がりを持ち続け一緒に話を重ねながら共に子育てしていきける仲間づくり。行政に届きにくい声を伝えていく。共に暮らす地域の人を他事ではなく、何をしたいのか共に対話していく。
- ・まだまだ知らない人が多く、周知していくのが大事だと思う。本当に困っている人に届くように工夫したり、公民館などに周知して地域単位で集められたらもっと多くの人に知ってもらえるチャンスだと思う。
- ・フードドライブに協力して下さる方も多く、何かできることが分かれば、役に立ちたいと思っている方が多いと感じた。実際に自分の周りにもパントリーという言葉知らない人もいたので、その言葉や活動をひろげていくことも大事かと思う。
- ・相談する場所を知らなかったり、相談相手がいなかったり、社会や専門機関と繋がっていないご家庭もあり、ひとり親家庭の孤立が見られる。食品を渡すことだけでなく、定期的にそのご家庭と関わることが大切だと感じる。また、食品配布がなくなっても、親子が社会で孤立せず生きていける力を身につけるためのサポートができたらと思う。
- ・パントリーを通して気づいたことの一つは、ミルクやおむつを必要とする妊娠期・乳幼児期のご家庭が思った以上に多く、子育ての早い段階で困窮状態が始まっている家庭が多数あるということです。母子が「赤ちゃんに飲ますミルクに困っている」と聞く度に本当に胸が痛み、全国に同じような思いをしている母子がどれだけのいるのだろうと想像しています。コロナ禍において民間NPOが食料支援できるのは限られた期間かもしれませんが、日本が本当の意味で「安心して産み育てる国である」ためにはすべての妊産婦・乳幼児期への社会保障がより手厚く確かなものになる必要があるし、それは民間だけの支援では決して成し遂げられないと思うようになりました。
- ・必要なところに情報が十分に届いていないことがわかりました。行政など公的な関わりや情報だけでなく、間接的にかみ砕いて伝える場所があることで、制度の利用に繋がることも多いし、敷居が低くなると思います。
- ・何らかのカタチにした支援を継続させていながら、みんなとも考えていくこと。また一人ひとりの意見やアイデアをみんなで共有したい。

ひとり親だけが貧困というわけではないけれど、情報や繋がり、食品提供を必要としている方が確かに多いという現状はありました。パントリーは有効な手段の一つだと思っています。今後、SDGsの観点からも地域や企業などへも働きかけ、理解、協力を得て、必要な世帯に対してサポートできる仕組みをつくりたいです。



パントリーは物資の支援だけでなく、人とのつながりという支援もしているのだと思いました。物を渡すだけでなく声をかけることで、一人じゃない気にかけてくれている人がいるという心の支えになっているように感じました。この活動は、絶対に終わらせてはダメだと思います。



活動に関わらせていただいたおかげで、この活動の必要性を感じました。またできることがあればお手伝いさせていただきます。



これで終わりではなく、今後も交流会や相談会などは継続したいし、もちろん、不定期でも、食品配布も継続できたらと思います。この2年間での繋がりを大切にしたいです。



コロナ禍の緊急支援としてはじめてのパントリーですが地域の方々や多くの企業・他団体がこの活動に関心をもって寄贈品をくださったり活動を支えてくださったことにも大変励まされました。

パントリーにご協力いただいた皆さま

【連携・協力団体】

香川県社会福祉協議会、NPO法人子育て応援NPOフレンズ、NPO法人子育てネットひまわり
認定NPO法人さぬきずくコムシアター、四国学院大学ボランティアサークル
NPO法人すくすく、認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ
善通寺市社会福祉協議会、三豊市社会福祉協議会、三豊市母子福祉連合会

【食料品等の寄付・寄贈】

愛南漁業協同組合、あきこきっちゃんパン屋さん、(株)味のちぬや、江崎グリコ(株)
(株)王将フードサービス、カナン子育てプラザ21保護者会、源正寺、(株)神戸物産
(有)さぬきこだわり市、四国少年院、一般社団法人全国食支援活動協力会、善通寺市仏教会
善通寺ロータリークラブ、総本山善通寺、第一生命保険(株)、辻水産(株)、日本生命保険相互会社
NPO法人フードバンク香川、本正寺、丸亀法人会、認定NPO法人わははネット 他個人の皆さまより多数ご協力頂きました。



善通寺市仏教会よりクリスマスチョコレートを頂きました



おわりに

新型コロナウイルス感染拡大の収束や安定した生活が難しいと感じる中、ひとり親家庭をはじめとする生活困窮家庭への食料品支援や相談会をWAM助成として実施することができました。

パントリー登録家庭を対象としたアンケート結果を通して、10～20代が20%以上、おむつや粉ミルクを必要としている1歳未満児の乳幼児家庭も延べ96家庭(毎月平均14家庭)ほどあり親自身が若く子育ての早い時期に困窮しているケースもあることがわかりました。ご家庭の就労形態については40%が正規職員である一方60%の家庭が契約職員やパート・アルバイト・無職など育休制度を使えなかったり不安定な労働条件で子育てをされています。そのような中、「ほっこりパントリーを利用するようになって、経済的負担の軽減や、気持ちが前向きになったなど、何かご自身やお子さまに変化はありましたか?」という問いには94%が「とても変化があった」もしくは「少し変化があった」と回答し自由記述でも食料品配布はもちろんのこと新たなつながりや交流に多くの前向きな感想が寄せられました。私たちの活動がご家庭に向けてできたことはわずかなことかもしれませんが、少しでも皆さんの生活の励みや日々の安らぎの一つになれたのであれば大変うれしく思います。

ご家庭の中にはお子さんのことで20%以上が「学習での遅れ」「子どもの言葉づかいや行動」「子どもの友人関係等」で心配ごとがあると回答しており個別相談ではお子さんの不登校や思春期など深刻な悩みが寄せられることも多くありました。

私たちのパントリー活動の目的は、ただ食料品をお届けすることだけではなく、その家庭が抱えているこれらの困りごとや心配を共に考え寄り添い、地域とつないでいくことで孤立させないように機能していくことと考えています。パントリー活動に携わったスタッフや学生もひとり親家庭等が直面する社会的困難や課題を自分の身近なこととして捉え自分にできることは何か、また全ての子どもたちが本当の意味で豊かさや幸せを実感できる社会を実現するために何が求められているのか模索する貴重な経験をさせていただきました。WAM助成としては一区切りとなりますが、本法人では今後も多くの方々にご協力いただきながら引き続きほっこりパントリーの活動や日々の子育て支援活動を通してこのような社会的課題に取り組んでいきます。

*子育てネットくすくすは平成14年3月に香川県の認証を受けたNPO法人(特定非営利活動法人)です。

ほっこりパントリー活動報告書 令和4年3月発行【発行元】NPO法人 子育てネットくすくす 香川県善通寺市金蔵寺町1044-2
【発行人】共同代表 草薙めぐみ 間島いずみ【編集】事務局 齋藤啓子【問い合わせ】☎0877-64-0580 jim@k-kusu.com